



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸の言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

超一流の高校生とは

英語科 書籍 傑作

プロ野球の解説者で元楽天イーグルス監督の野村克也氏は、プロ野球に入ってくる選手を「超一流」「二流」「超二流」「三流」の四つのタイプに分類している。「超一流」の選手とは、実力実績はもちろんのこと、その練習態度やチームへの献身の姿勢、言動なども含めて選手の模範となり、チームの要となるべき人材である。「二流」とは、実績を残すだけで、人間的な部分においては評価されないレベルの選手。その下の「超二流」とは、努力はしているものの、突き抜けることができないタイプ。実力はついてきて、試合にも出られるようになってきたが、レギュラーを取るまでには成長しきれない選手である。最後の「三流」のレベルとは、いい素質は持っているのに、努力もしないタイプ。これまで素質だけでやってきて、そこそこ通用したが、プロの高いレベルの中にいては、そんな選手はいずれ消えていくようである。

この考え方を野球選手ではなく、高校生に当てはめてみよう。「超一流」の高校生と聞いてどんな姿を思い描くだろうか。これまで接した生徒を紹介したい。剣道部だったA君は、三年の時に委員長に立候補した。その所信演説で「僕は他のどのクラスの委員長よりも大きな声で号令を掛けます。授業中寝ている人は僕が許しません」と言い、最後までそれを貫きクラスの雰囲気を引き締めてくれた。三年間下宿生活をしながら応援団としても活躍し、一浪はしたものの、今東大でさらなる高みを目指している。

音楽部に所属していたBさんは、寡黙な人で、放課後教室の前列で黙々と自習に励み、その姿に級友は感化され、いつしか教室で自習をする者が増えていった。そんな努力家の彼女も現役時代は目標に届かず、結局一浪して京都大学に合格した。合格の秘訣は数学にあったという。自分の計算の遅

さに気づき、小学生用の百マス計算の問題集を購入し、徹底的に解いた。またチャート式の問題集は自分の理解度に合わせて問題を分類し、できない問題は日をつけて繰り返し解いたそうである。その後数学の不得意な後輩のために、自分が使ったものと同じ百マス計算の問題集をわざわざ送付してくれた。

吹奏楽部に所属していたCさんは、二年の文化祭で劇の主役の一人として練習に没頭していた矢先、父親が病気で亡くなった。計報に本番の出演も難しいだろうと誰もが思ったが、周りを気遣い当日は出演し見事大成功を収めた。吹奏楽部の学生指揮者も務め、その気丈な姿に周りは涙した。その後すぐ「今の世の中を良くするには教育を通して子ども達を変えたい」と相談してきた。

私はそんな彼女だからこそ父親の意志を受け継いで欲しいと思いを語った。一浪はしたが、今は父親と同じ医師への道を歩んでいる。



For othersは「他人のために」という意味の他に、「他人に代わって」という意味があることは周知のことであろう。目の前に二つの選択肢が提示されたとする。一つは見たところ努力の必要ない安易な道。もう一方は苦勞しそ

うな困難な道。皆さんはどちらを選択するだろうか。私は容易な道は他人に譲り、敢えて困難な道を自ら選択することもFor othersの目指すところではないかと考える。紹介した生徒に共通するのは、自分の立場や能力、将来への道を受け入れる覚悟と、その後のひたむきな努力である。そしてそれが成り立つためには、自分の利益のためだけでなく、誰かのために役に立っているという思いが必要なのだろう。野村氏も「実績だけでなく、人格の部分も兼ね揃えて初めて超一流といえる」と述べている。鶴丸高校での三年間を通して、「超一流」の人間に成長することを願っている。

生徒会新執行部発足

村谷薫さんを中心とした平成二十七年前期生徒会が発足した。執行委員会のうち会長・副会長・各機関代表を紹介する。

- 会長 村谷 薫 (二二R)
副会長 花田 茉依香 (二二R)
副会長 大内山 辰志 (二二R)
体育局長 國吉 真咲 (二二R)
文化局長 山崎 雄大 (二二R)
書記総括 山下 綾美 (二二R)
会計総括 福元 理子 (二二R)
一学年代表 義之 虎太郎 (二四R)
二学年代表 馬 継士郎 (二七R)
三学年代表 岩田 淳志 (三七R)



生徒会長 村谷薫さんの抱負

この度、前期生徒会長に就任しました村谷薫と申します。このような大役を任せて頂くことをとても光栄に思っています。「鶴丸を熱くする！」私は立会演説会でこう宣言しました。そのためには、私自身が誰にも負けない熱い心を持つてい

なくてはなりません。生徒会長として、何事においても全力で取り組み、学校のために全力を尽す所存です。また、前期執行部には十八名の頼れる仲間が集ってくれました。彼らと力を合わせ、鶴丸高校を牽引し、新たな歴史を築いていきたいと考えています。我ら執行部は、任期中全力で頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。

中高連絡会

六月九日、本校文化館で中高連絡会が開かれた。中学校と本校との連携を深めることを目的として毎年実施されている。今年度も四十五校の中学校から先生方の出席をいただき、本校からの学校教育活動等の説明の後の質疑応答や中学校の先生方と本校職員との懇談等も行われ、意見や情報の交換が行われた。

なお、中学三年生を対象とした「一日体験入学」は、七月三十一日・八月三日に実施予定である。

外務省「高校講座」

六月二十四日、外務省「高校講座」が本校体育館で開催された。外務省政務官である宇都隆史氏(本校四十四回卒)が来校され、外務省の仕事の主な内容や、政務官の仕事の内容、さらには卒業生として後輩へ伝えたいことなどを講演頂いた。日本が世界からどのように見られているのか、そこからわかる日本の国や日本人の良いところ、改善すべきところなど、「外側からみた日本」の話に生徒は熱心に聞き入っていた。宇都氏は、自分の目で直に世界を見ることの重要性を説き、後輩達に広く世界に目を向け大志を抱く大きな大人になって欲しいと熱いメッセージを送っていた。以下は生徒の感想である。

○一年生
・外国から見た日本の姿を知って、僕たちが毎日見ている世界は本当に狭いんだと感じた。若いうちに外国へ行って、固定化された視野を様々な方向に向けられるようになりたいと感じた。
・「自分で見て、聞いて、感じたことを信じ

なさい」という言葉に、正直鹿児島から出たくないと思っていたが、自分の可能性を広げ、日本や世界の未来に貢献できる人間になりたいと思った。
○二年生
・文化や人種の違いがあっても、初めから先入観を持つことは良くないことだと改めて感じた。
・海外の方々や接するにあたって、自国に対する理解を深めておく必要があると感じた。
○三年生
・「小さくまとまるな」という言葉がとても印象に残りました。もっと視野を広げられるような人間になりたいと強く思いました。
・外国の方々や交流する場は増えている。内弁慶にならず、日本人としての誇りを持ちつつ多くのことを吸収していきたいと思った。

嗚呼 鶴丸の意気高し

さらなる高みへ

本校の部活動・団体や生徒が、各種大会で上位大会への出場権を獲得したので、紹介する。さらに広く大きな舞台で、「鶴丸魂」を遺憾なく発揮してほしい。

- 九州大会出場
山岳部 男子
陸上部 個人 田坂 裕輝 (朝倉市)
個人 前田 理貴 (三年)
個人 竹之下 晴子 (三年)
個人 有馬 悠平 (二年)
個人 小浜 安理沙 (二年) (鹿児島市)
空手道部 個人 倉岡 駿 (佐賀市)
水泳部 団体
なぎなた 個人 松木田 彩音 (一年) (鹿児島市)
○全国大会出場
山岳部 男子
空手道部 個人 倉岡 駿 (滋賀県)
陸上部 個人 田坂 裕輝 (三年) (奈良県)
個人 竹之下 晴子 (三年) (和歌山県)
百人一首部 団体
○全国高等学校総合文化祭(滋賀県)
かるた部門 百人一首部
文芸部門 松井 香穂 (三年)
放送部門 浅井 穂 (三年)
書道部門 長野 有美 (三年)
美術・工芸部門 寄山 明音 (三年)

7・8月の行事予定

Calendar table with columns for month (7月, 8月) and day, listing school events like '1年進路講演会', '3年全統マーク', '前期末考査'.

○NHK杯全国高校放送コンテスト
放送部 西元 梨沙 (三年)